

ロボカップジュニア・ジャパンオープンと日本大会 開催候補地選定について

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパンでは、毎年開催予定のジャパンオープンと日本大会の開催候補地の選定について、以下の通り定める。尚、ジャパンオープンには海外チームの参加を認める。

●主催：

日本大会は、一般社団法人ロボカップジュニアジャパン（以下 JJ）とロボカップジュニア活動の趣旨に賛同する行政・企業・学校を含む各種団体に構成する開催委員会が主催する。

●対象団体：

ロボカップジュニア活動の趣旨に賛同し以下に掲げる開催条件（時期・場所・費用含む）を満たし、JJ が承認する行政・企業・学校を含む各種団体。

●開催時期：

3 月下旬～4 月下旬の土日を含む 3 日間以上（準備期間含む）
（2 年以上の連続複数年の開催を優先する）

●必要面積：

以下のチャレンジごと最低必要㎡以上の面積すべてを大会期間中を通じて準備できること。

■サッカーリーグ（136 チーム・300 名以上の参加規模を想定）

競技エリア+パドック（作業エリア） 最低 1100 ㎡以上

（10 個以上の B コート(2.43m×1.82m)及び 300 名分以上の作業エリア・机・椅子・チーム数分の電源）

■レスキューリーグ（50 チーム・100 名以上の参加規模を想定）

競技エリア+パドック（作業エリア） 最低 550 ㎡以上

（競技ステージ(10m×12m)以上、及び 100 名分以上作業エリア・机・椅子・チーム数分の電源）

■オンステージリーグ（22 チーム・100 名以上の参加規模を想定）

2 面のステージ（6m×4m）+パドック（作業エリア） 最低 550 ㎡以上

（高さ 30 cm 程度のステージ（2 面）及び 100 名分以上の作業エリア・机・椅子・チーム数分の電源）

※体育館の常設舞台は高すぎて見えないために不可

■レスキューシミュレーションサブリーグ（10 チーム・30 名以上の参加規模を想定）

大型スクリーン設置+50 名程度の観客席+パドック（作業エリア） 最低 140 ㎡以上

（大型スクリーンと 50 名程度の観客席及び 30 名分以上の作業エリア・机・椅子・チーム数分の電源）

※参考資料：2019 和歌山大会 総面積合計 3280 ㎡

（内訳：サッカー/1200 ㎡、レスキュー/580 ㎡、オンステージ/790 ㎡、Simulation/110 ㎡）

●開催費用：

日本大会運営に関する費用の全部、または一部負担し、最終的に大会開催に関わる全ての費用を担保できること。

余剰金については JJ 普及・振興に向けての配分を条件とし、開催委員会に一任する。

●応募方法：

開催希望者は、JJ 公式 HP 全国大会誘致ページより、応募フォームをダウンロードし、必要事項を記入の上、期限までに JJ 事務局へメールにて提出すること。

●応募時期：

開催年の 2 年前の 8 月末を受付締切とする。

●決定方法：

受付終了後、JJ 理事会での審議・承認を経て 10 月末までに決定する。